

第1回 豊浦町地域創生総合戦略推進本部会議 議事概要

開催日：平成27年4月8日(水)

時間：16:00～17:30

会場：豊浦町役場2F 応接室

出席者 村井町長、小川副町長、佐々木教育長(欠)、半澤総務課長、橋田会計管理者、竹林町民課長、久々湊建設課長、佐藤建設課参事、瀬野農政振興課長、杉谷水産商工振興課長、川端生涯学習課長、吉田総合保健福祉事務長、藤原総務課長補佐、竹島企画防災係

1. 本部長(町長)あいさつ

- 27年は地方創生元年。人口減少の歯止め、大都市への人口流出を止める。豊浦町の特色ある、総合戦略を作っていきたい。

2. 説明

(1) 豊浦町地域創生総合戦略推進本部会議要綱について

半澤総務課長説明

本年4月1日に豊浦町地方創生総合戦略推進本部会議を設置した。目的は、人口減少、少子高齢社会において活力ある本町地域社会を維持・発展させるため、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成に向けて必要な取組を検討し、推進することを目的としています。

組織は、課長会議の構成員を持って充て、本部に担当者連携会議を置き、構成員は、町長が指名する関係担当者(別紙のとおり)としています。

質疑

(やまびこ事務長)

担当者連携会議の担当者指名については、記載のある職員のみか？また、全員出席することとなるのか？

(総務課長)

要綱上は、課長補佐、係長を指名しているが、勤務上支障もあると考えるので係員でも可能としたい。関係係から1名出てもらえればベストと考える。

5項で必要に応じ担当者を出席させたいので、課長の協力をお願いしたい。

(2) 基本方針とスケジュールの概要について

半澤総務課長説明

基本方針(案)については、趣旨は、国及び北海道が策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、豊浦町の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたします。

当町の人口の現状と将来の姿を示す、長期的な人口ビジョンを策定、また、人口ビジョンを踏まえた、当町が安定した人口を保ち、将来に渡って活力ある地域社会を実現するための5か年計画を策定いたします。

策定期間は、9月末までに策定を予定しています。また、4つの重点検討項目を定め

- (1) 一次産業の維持・振興と6次化への挑戦により、雇用の創出を進める。
- (2) 若い世代が希望に応じて、結婚・出産・子育てができる切れ目のない安心した医療、住生活環境づくりを進める。
- (3) 新規就農・漁業者や田舎暮らしを求める都会からの移住定住促進と移住者の収入確保場の創出支援を進める。
- (4) 再生可能エネルギーの公的施設や農漁業への利活用推進検討を進める。

これらを重点に置きながら計画を策定していきたいと思えます。

また、庁内横の連携を持つために担当者連携会議を開催していきます。

スケジュールについては、別紙のとおり。政府においては、昨年に創生本部を立ち上げており、豊浦町においては、本日の推進本部会議を行い、5月中に現在委員の選定をしておりますが、戦略策定会議を開催し、9月末までには総合戦略の策定を行いたいと思っています。

(町長)

重点項目については、執行方針等で示している内容をまとめたものである。

(水産商工振興課長)

戦略を9月末までに作成するのは難しくないか？各会議の回数、時期は？

(総務課長)

タイトな会議日程になると思うが、上乘せ交付条件上作成しなければならない。

他市町においても同様に作成する予定

各会議の回数、時期は、これから委託業者と協議し検討するので、次回の会議には説明できると思う。

(総務課長)

策定委員については、国から「産官学金労言」の方々広く住民の意見を反映した計画づくりをするよう指示されているが、当町においては、資料にある通り、産業団体から青年部長等を、学においては、東海大教授を、金においては、伊達信金と道銀の2行を、労については、労働組合は無いので、道の駅のフード開発をお願いしている川端さんを、言については、大滝のケーブルテレビを手掛けており、かつ、豊浦への移住者でもあるアップデートの吉居さんを、その他として、新規就農分野から北海道指導農業士であり、新規就農者への助言指導を行い、農業に従事する青年部長の山田さんを、子育て支援分野から子ども・子育て支援会議委員の大久保さんを予定しております。まだ、決定ではありません。調整中ですのでこの他に、適任の方がおられましたら、お知らせ願いたい。

公募委員としては、2名予定しております。

12名につきましては、男女、年齢・世代等を考慮して対応するとともに、先程も話した通り、時間が短いこともあることから意見がまとまりやすくなるよう少数かどうか分かりませんが他市町の状況も参考に12名として行うこととしました。

(農政振興課長、水産商工振興課長)

策定委員の人選であるが、これからの豊浦町を背負って立つ若者の意見を重視したいとの町長の考えには、同感であるが、産業団体の幹部（豊浦地区の代表者）からの意見も何らかの形で聞くのが良いと思うが・・・

(総務課長)

その意見は、先に聞いていたので、町長とも相談し、産業団体の幹部の方と何らかの形で意見交換することとしている。

(3) 地方創生交付金事業について

半澤総務課長説明

地方創生の交付金については、皆様方のご協力により、平成26年度の補正予算として計上しているところであります。地域消費喚起・生活支援型として12,442千円。プレミアム商品券、低所得者向け灯油等の購入助成事業を予定しています。

また、地方創生先行型として地方創生総合戦略策定会議運営事務、これからプロポーザルを行う地方人口ビジョン・地方版総合戦略基礎資料調査策定業務に10,000千円。

農用地有効利用と農地担い手の確保・育成と新たな農産物のブランド化推進事業として、札幌や東京で行われる新規就農相談会に参加し、新規就農の受け入れ相談、パンフレットの作成、新規就農者の受け入れ体制を整備するため農地のデータ化、また、移住者の交通費の一部助成を行います。さらに、新規就農者に対し、円滑な就農を推進するため、初期投資資金、支援受け入れ農家への助成、家賃・固定資産税・農用地賃貸に係る助成を行います。

ベリー栽培試験研究事業として、ストロベリー以外のブルベリーやブラックベリーなどの試験栽培を行い、商品開発等の検討をいたします。

後継者対策として、農業・漁業・商工業等を中心として、安定的な経営を図り産業の活性を図るため、一次産業の未婚男性と異性との出会い場を設け、交流・定住人口の増加を目指します。移住定住対策事業として、移住定住を図るため、町内にある空き家の実態調査を所有者の意向を確認し、空き家バンクに登録してもらい移住定住住宅の確保を図る。また、移住体験希望者のおもてなしを図るため、コンシェルジュを配置し、豊浦町の魅力ある場所を案内し、移住定住につなげる。また、移住用のパンフレットを作成し、首都圏の相談会等でPRを予定しています。

(町長) 補正分の事業については、迅速に計画的に作業を進めていただきたい。

(町長) 総合戦略の策定については、豊浦町の生き残りを左右するともいえる大事な計画であることから職員的能力を最大限に発揮し、計画策定に協力していただきたい。